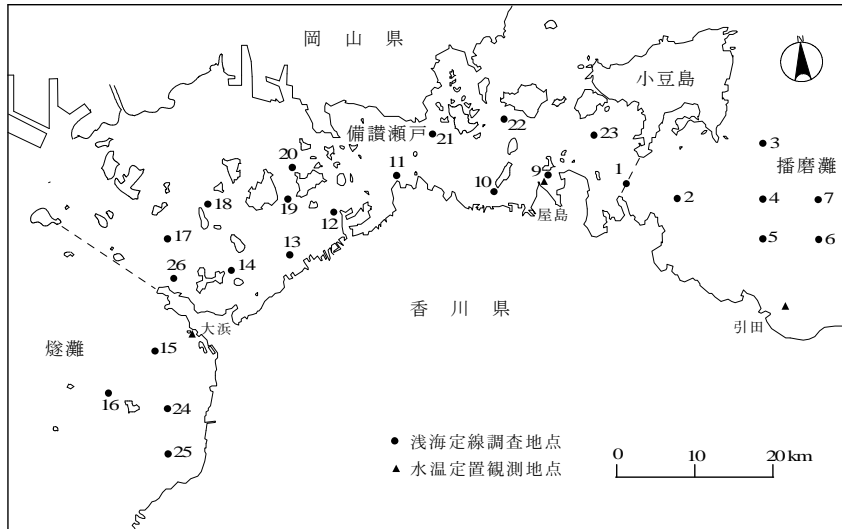


香川県漁海況情報 平成 25 年 6 月 (H25-3 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 25 年 6 月 3 日 (播磨灘), 4 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「平年並み」、透明度は「やや低め」から「平年並み」、溶存酸素は「やや低め」から「やや高め」であった。

6月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	18.5	17.3	15.4	32.2	32.3	32.4	10.8	5.04	4.48
	平年値	18.5	17.2	15.4	32.1	32.2	32.4	10.2	5.35	4.75
	平年偏差	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.6	-0.31	-0.27
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	1.2	0.5	0.5	0.4	3.6	0.37	0.51
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	18.8	18.0	17.7	32.5	32.6	32.6	5.8	5.40	5.21
	平年値	18.3	17.8	17.6	32.4	32.5	32.5	4.9	5.19	5.07
	平年偏差	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	0.21	0.14
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.2	0.7	0.6	0.6	1.5	0.43	0.40
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	21.3	17.3	15.5	32.6	32.8	32.9	7.0	5.73	4.51
	平年値	20.1	17.6	16.2	32.6	32.9	33.1	10.6	5.40	4.52
	平年偏差	1.1	-0.3	-0.7	-0.1	-0.1	-0.2	-3.6	0.33	-0.01
	標準偏差(σ)	1.4	1.4	1.9	0.5	0.4	0.4	3.4	0.40	0.66
	状 況	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

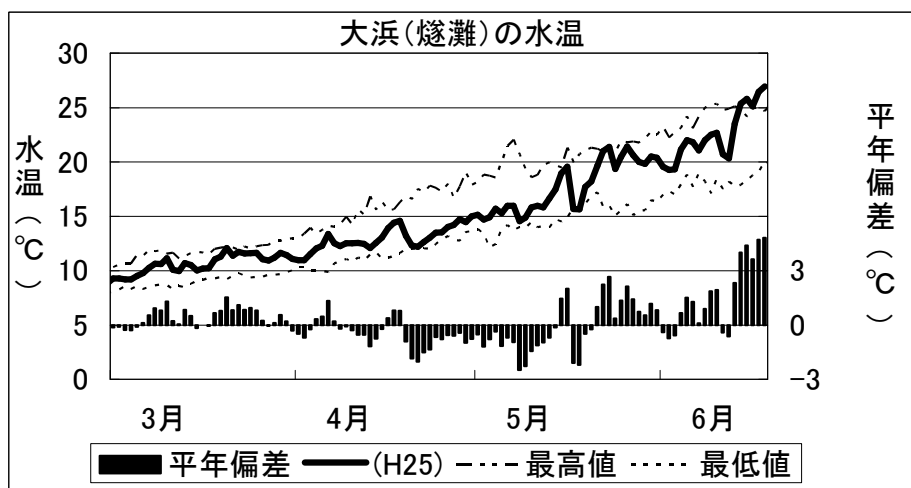
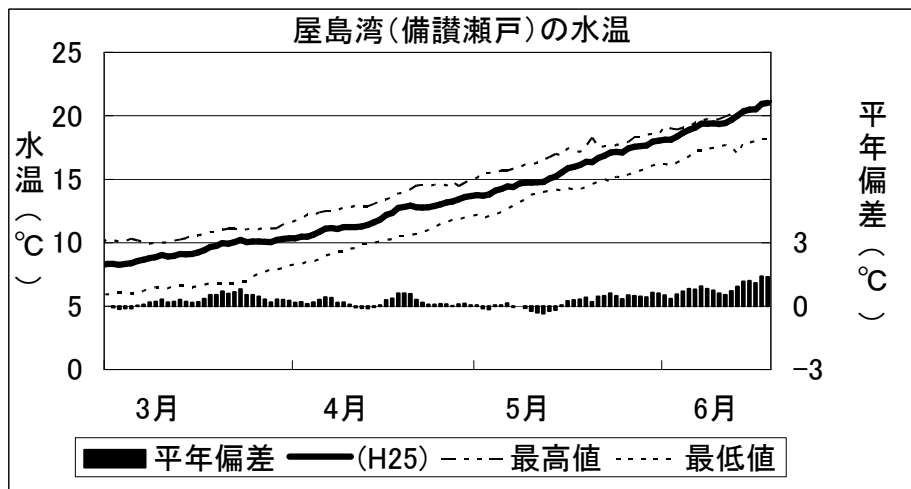
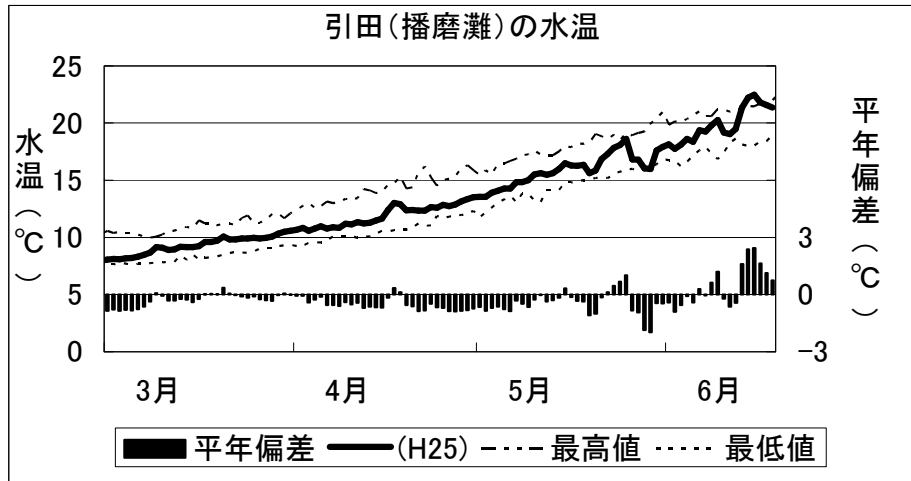
播磨灘 (引田) : 3, 4月はやや低めから平年並み, 5月は平年並みから著しく低め, 6月は平年並みから著しく高めで推移している。(5月下旬に1日, 過去最低値を更新。6月中旬に4日過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 3月は平年並みからやや高め, 4, 5月は概ね平年並み, 6月は平年並みから著しく高めで推移している。(6月中旬に2日, 過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 3月は平年並みからかなり高め, 4月はかなり低めから平年並み, 5月はかなり低めから著しく高め, 6月は平年並みから著しく高めで推移している。(6月中旬に5日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 24 (2012) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 24 (2012) 年



4) 赤潮 (5月20日～6月19日)

播磨灘：5月13日から6月3日に小豆島東部から播磨灘南西部において *Noctiluca scintillans* による赤潮が断続的に確認された。

備讃瀬戸：発生無し

燧灘：発生無し

5) 卵稚仔

調査日：平成25年6月3日(播磨灘), 4日(備讃瀬戸, 燧灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

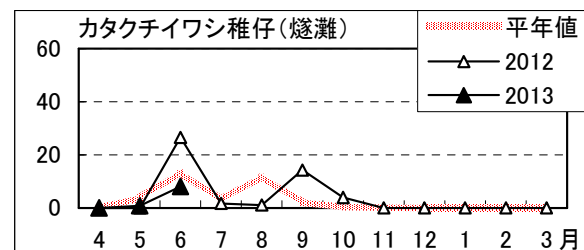
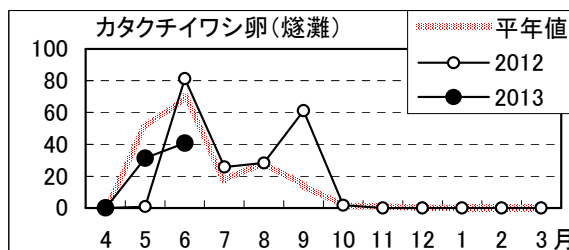
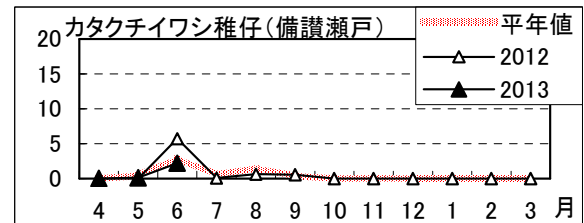
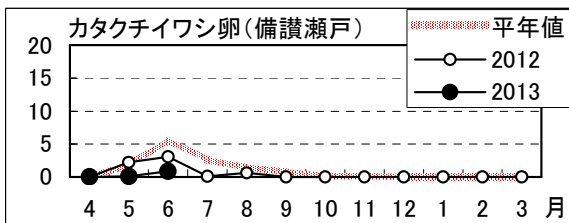
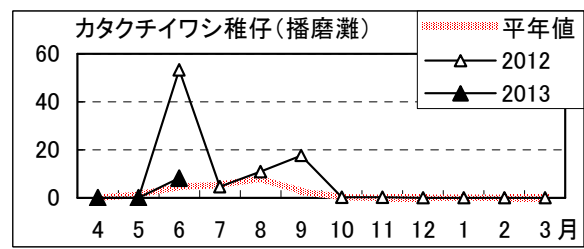
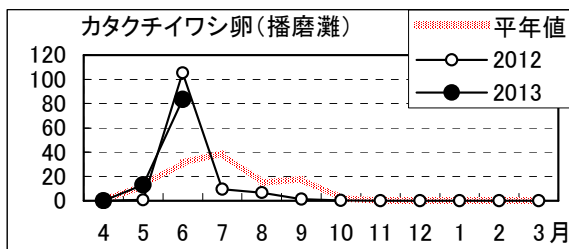
カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	83.5	8.3	0.0	0.0	12.5	3.0
	平年値	31.0	4.6	0.1	0.1		
	対平年(%)	269.6	177.8	0.0	0.0		
備讃瀬戸	平均値	0.9	2.2	0.0	0.0	7.5	2.1
	平年値	5.7	2.9	0.1	0.1		
	対平年(%)	15.3	76.0	0.0	0.0		
燧灘	平均値	40.7	8.1	0.0	0.0	3.7	2.3
	平年値	69.9	13.5	0.4	0.1		
	対平年(%)	58.2	60.3	0.0	0.0		
総平均	平均値	32.2	5.2	0.0	0.0	8.0	2.4
	平年値	27.4	5.8	0.2	0.1		
	対平年(%)	1.2	89.2	0.0	0.0		

*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



2. 漁況

1) 5月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網ではアカカマス、ベイカ（ジンドウイカ類）、小エビ類、クルマエビ、コノシロ、ハモ、スズキ、クロダイなどが漁獲されている。 建網ではメバル、カサゴ、コウイカ、マコガレイ、メイタガレイ、マゴチ、マダイ、クロダイ、キジハタ、オニオコゼなどが漁獲されている。 柵網ではマルアジ、マアジ、コノシロ、コウイカ類、スルメイカ、クロダイ、シログチ、アイゴ、マイワシ、マサバ、メジナなどが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網ではメイタガレイ、マアナゴ、アカニシ、キュウセン、マダイ、コウライアカシタビラメ、ヒラメ、マダコ、キジハタ、小エビ類、クルマエビ、ガザミ、オコゼ、スズキ、コウイカ類、ネズツポ類などが漁獲されている。 建網ではメバル、マダイ、クロダイなどが漁獲されている。
燧 灘	底びき網ではメイタガレイ、小エビ類、ガザミ、カマス、ハモ、イヌノシタ、クルマエビ、ヨシエビ、アカガイ、オニオコゼ、マゴチ、マダコ、クロダイ、シログチ、ネズツポ類、シャコなどが漁獲されている。 建網ではメバル、アイゴ、エソ、シログチ、キジハタ、クロダイ、マダイ、メジナなどが漁獲されている。 柵網ではコショウダイ、アイゴ、クロダイ、カサゴ、メイタガレイ、マコガレイ、スズキ、ニベ、マゴチなどが漁獲されている。
香川県全域	香川県魚市場（株）における6月10日までの県内の取扱尾数は、サワラが50.3千尾で昨年より少なく、一昨年より多い。サゴシが9.5千尾で昨年より多く、一昨年より少ない。サイズは3～5kgが主体。播磨灘では昨年より少なく、一昨年より多い。備讃瀬戸、燧灘では昨年、一昨年より少ない。

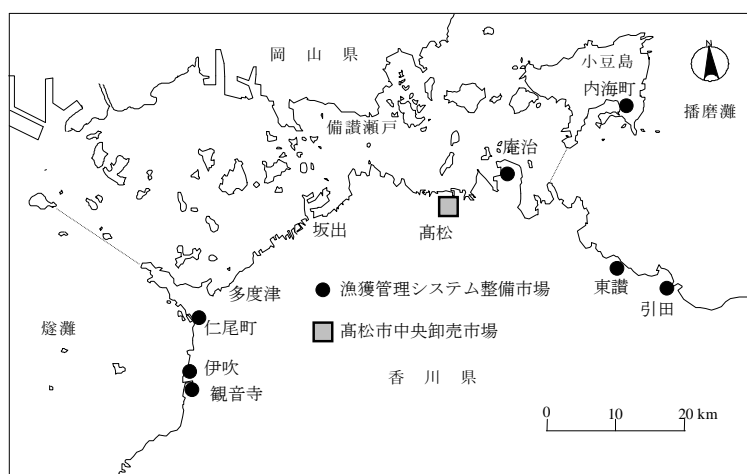
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものの。



※ 現在、漁獲管理（TAC）システム全体を更新中のため、グラフは高松市中央卸売市場のみとしています。

